

ホームページ公開

平成25年2月6日 教育委員会定例会 会議録

1 開催日時及び場所

・平成25年2月6日(水) 午前10時00分 ~ 午前11時07分

(報告事項・意見交換 午前11時08分 ~ 午前11時55分)

・教育委員会室

2 出席者

委員

委員長 土屋 嶠

委員 野原 正美

委員 稲本 正

委員 森口 祐子

教育長 松川 禮子

(月村時子委員 欠席)

事務局職員

教育次長 丹羽 章

教育次長 宇野 秀宣

義務教育総括監 加藤 壽志

総合教育センター長兼教育研修課長 南谷 清司

教育総務課長 桐山 敏通

教育総務課教育主管 高橋 博美

教育財務課長 山本 紳一

教職員課長 高橋 利行

学校支援課長 柿澤 雄二

特別支援教育課課長補佐 出口 和宏

社会教育文化課長 浜崎 浩之

スポーツ健康課長 鈴木 賢治

スポーツ健康課教育主管 川治 秀輝

3 議事日程等

報第1号、報第2号及び議第2号について非公開とすることを決定。

4 会議録

平成25年1月24日開催の教育委員会会議録を承認。

5 審議の概要

別添のとおり

会 議 録

発 言 者	発 言 内 容 ()書きは事務局発言
報第1号 職員の表彰について(非公開案件)	
死亡退職した職員(2名)の表彰を専決で行ったことを報告し、承認された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。	
報第2号 市町村立学校管理職の人事異動について(非公開案件)	
市町村立学校管理職(1名)の人事異動について、専決処分を行ったことを報告し、承認された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。	
議第1号 平成25年度岐阜県教育委員会の基本方針について	
教育総務課長	<p>平成25年度岐阜県教育委員会の基本方針についてお諮りする。岐阜県教育ビジョンの柱立てに沿って、年度ごとに展開する施策のうち、重点的に行うもの、新規で行うものを主に記載している。きめ細かな教育の推進のため、新規に、小学校における教科専門性の向上のため、6校程度を指定して、主に小学校高学年を対象に、中学校と連携し、専門教科の指導等を行う。また、少人数教育を推進するため、県独自で新たに少人数学級編制を小学校3年生に拡充する。いじめ・不登校の未然防止と早期対応のため、学校における、児童生徒の居場所づくりや絆づくりの事業を実施する。県内の小中学校を指定し、児童生徒に集団適性アセスメント検査を実施し、その結果を踏まえて、効果的な指導方法を開発するなどの研究を行い、指導体制の充実を図り、いじめ・不登校対策につなげる。</p> <p>また、普通科高校を中心に、キャリア教育アドバイザーを配置し、支援するなど、高等学校におけるキャリア教育・就職指導の充実を図る。</p> <p>平成25年度からは岐阜県政全体で「清流の国づくり」をキーワードに政策を推進することとしており、教育の分野でも、環境教育以外にも、岐阜県の持つ「清流」イメージを、ふるさと教育などを通じて打ち出す施策を展開していく。</p> <p>特別支援教育では、発達障がい児童生徒への支援体制の充実を図ったり、各圏域にキャリアコーディネーターを配置し、特別支援学校における就労支援の強化を図る。</p> <p>高校改革の推進のため、各高校において校長の経営判断に基づいて計画を立てて進める改革を支援する事業も新たに展開していく。</p> <p>また、トップアスリートの活動拠点を創設するなどにより「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の財産を活用して競技力水準の維持向上を図るなど、スポーツを推進していく。</p>
稲本委員	<p>小学校の教科専門性向上の事業について、具体的にイメージしにくいので補足説明してほしい。世界の変化に対応するような、例えば、小学生が大学教員の指導のもとで科学研究を行ったり、海外との商取引に活用できるようなビジネス英語を教えるといったような、特色的な事業か。</p>
学校支援課長	<p>小学校の教科専門性向上では、主に小学校高学年における教科指導を行う。例えば、通常は担任がすべての教科を教えるが、小中学校の交流人事を行い、数学の教員が小学校で算数を教えるなど、発達段階に応じて、学習内容が高度になる小学校の高学年において、教科指導を推進していく。英語では、学習指導要領の中で、小学校5、6</p>

ホームページ公開

	<p>年生で外国語活動が必修化されているが、市町村によっては、学習指導要領の特例を活用して、1年生から英語を教えているところもある。</p>
稲本委員	<p>専門教育については、スポーツを含め、欧州に追いつき、追い越すことを目的にした教育の時代は終わった。今後、日本の独自性を含めたクリエイティブな教育の在り方が求められる。国内で特殊な能力を伸ばし、海外でも通用する人材を育てるために、戦後教育に代わる新しいビジョンをもって、例えば、森林が豊かであることなど日本独特の環境や文化を生かし、多様性のある教育を行っていく必要がある。</p>
教育長	<p>グローバル化への対応のために、来年度は、ALTの増員などの施策を行っていくが、第二次岐阜県教育ビジョンの策定にあたっては、語学だけでなく、様々な視点から議論を行い、対応を考えていきたい。</p>
委員長	<p>教員の資質向上のために、企業や海外に出て勉強してもらい、幅広い視点を持ってもらうことが必要なのではないか。</p>
教育長	<p>教員の資質を向上させるために、海外や企業での経験は大切であり、できるだけ多くの教員が社会での幅広い経験を積めるよう、人材教育に投資をしていくことが重要であると考えている。</p>
森口委員	<p>スポーツの世界では、一つ分野を深く追求することが多いので、社会性が伴わないことがある。日本の子どもと世界の子どもの違いを知るなど、海外に出てグローバルな視野を持った教員が、子どもの社会性を育成することが大切である。</p>
稲本委員	<p>例えば、公務員や学校の教員が、日本に生息する木の名前をあまり知らないなど、現場の知識に乏しいケースもある。教員の被災地への派遣など、外部経験を積むことを制度化するなどして、教員のレベルアップを図ることも大切である。岐阜は森林や川が多く、東京から、木育に関する全国的な会議の開催地としてラブコールを受けたこともあるが、岐阜が応えきれていない場合がある。岐阜の特色を生かした教育を行うことも重要ではないか。</p>
教育長	<p>岐阜県では「清流の国づくり」に向けて、様々な分野でブランドイメージを大切にしたい施策を行ってまいりたいと考えており、森林や水といった環境教育のほかに、ふるさと教育でも、清流ブランドを特色として出したものを具体化していきたい。</p>
野原委員	<p>いじめや不登校の未然防止と早期対応のため、外部人材で編成するサポートチームの活用を行うとあるが、具体的な方策はどのようなものか。</p>
学校支援課長	<p>いじめや不登校の未然防止や早期対応のため、生徒指導の緊急サポートチームとして、年間40～50回、主に臨床心理士の派遣を行っている。保護者との法的な話し合いに際して、弁護士を派遣することもある。</p>
森口委員	<p>他の事柄と同じように、教育にも、理想と現実、建前と本音があると思うが、教育委員会は、実際に教育を受ける側の立場に立って施策を進めていく必要がある。相性もあるかもしれないが、子どもは、広い視野を持って指導をしてくれる、余裕のある教員のもとでは、余裕を持って育つことができる。</p>
稲本委員	<p>子どもを通わせたい理想的な学校とは、どのような学校か、本格的なアンケート調査を行い、モデル校を指定し、本音で特色ある中学校や高等学校づくりを推進してみるの</p>

ホームページ公開

	<p>も一案である。</p> <p>特色的な取組を一般政策に行うのは、難しい面もあるが、教育を受ける側の本音をくみ取り、これにあったモデル的なケースを作ることが大切である。</p>
委員 長	<p>特別支援学校における就労支援について、企業では、障がいがある子を1名採用すると、その指導者が2名必要になるなど、採用に際しては、ハードルが高い面もあるが、子どもが就職できると、保護者は大変喜んでくれる。初年次など初歩の段階から、就職を希望する企業をターゲットにした、専門的トレーニングを積んだ方が、企業が採用をしやすい。一般企業への就職者を増やし、保護者や子どもたちに喜んでもらうためにも、カリキュラム等に工夫の余地があるのではないか。</p>
教育 総務 課 長	<p>この教育委員会の基本指針は、予算編成と並行して進めているので、予算の成立と同時に一体感を出して発表していきたい。運用面で工夫しながら、各委員からのご意見を施策に反映していく。</p>
委員 長	<p>議第1号につき、挙手により採決する。</p>
委員 長	<p>全員賛成により可決する。</p>
議第2号 教育に関する事務に係る議案に対する意見について（非公開案件）	
<p>平成25年第1回岐阜県議会に提出する教育に関する事務に係る議案に対する意見について諮り、可決された。</p> <p>本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
閉 会	
委員 長	<p>午前11時07分、閉会を宣言する。</p>
事務局報告	
<p>(1) 防災教育の推進について</p> <p>(2) 県立中津商業高等学校における事故損害賠償について</p> <p>(3) 岐阜県現代陶芸美術館協議会委員の公募について</p> <p>(4) 平成24年度教育委員行事予定について</p> <p>(5) 多治見市内の中学校における自殺未遂について</p> <p>(6) 体罰の状況調査について</p>	